



ROCK PAINT

Technical Data Sheet TDS NO. OR021420-①

ORD/APD

1 / 3

その他周辺剤 Ver.2

06/22/23

For Professional Use Only

## 反応促進剤(速乾型)

2液ウレタン樹脂塗料用硬化反応促進剤

### 商品概要・用途

反応促進剤(速乾型)は、冬期低温時など塗料の乾燥時間を短縮したい場合に、指定の配合可能塗料に対して規定量配合することにより、塗料の反応硬化時間を速めることが可能な添加剤です。  
可使時間が短くなるなど使用に際しての制限があるため、注意事項に留意して使用してください。

### 品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

051-0101-6A 反応促進剤(速乾型)

100mL



### 特長

- ・塗料の反応硬化時間を速めることが可能なため、冬期低温時や生産性向上を目的とした乾燥時間の短縮に寄与します。
- ・添加量により、硬化時間の調整が可能です。
- ・配合した塗料の可使時間が短くなります。

### 配合可能塗料



- ・073-8\*\*\* ハイロックDX 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・073-8150 ハイロックDX クリヤー
- ・079-\*\*\*\* ロックエース 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・088-\*\*\*\* パナロック 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・150-1150 マルチトップ クリヤー QR(標準型)
- ・150-3140 / 3150 マルチトップ クリヤー MD(芯じまり) / MR(標準型)

### 注意事項



- ・本書記載の配合可能塗料の主剤にのみ添加し、添加率の上限値を超えない範囲で配合して使用してください。
- ・塗膜性能低下の原因となるため、配合可能塗料以外への使用はできません。
- ・硬化剤には添加しないでください。硬化剤に反応促進剤(速乾型)を添加して混合すると、自己反応硬化を起こして硬化剤単独で硬化し使用できなくなります。

### 保管条件 / 貯蔵安定期間



5~40°C

3年間 (未開封時)

### 保護具/安全衛生



- ・適切な安全保護具を着装してください。
- ・詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

反応促進剤(速乾型)

For Professional Use Only

使用方法



反応促進剤(速乾型)は主剤に対して添加することにより、塗料の反応硬化時間を早くするための添加剤です。

・反応促進剤(速乾型)は、塗装する直前に配合可能塗料の主剤100に対し、添加率の上限値を超えない範囲で配合します。その後十分に攪拌してから、主剤専用の硬化剤と希釈シンナーを配合し塗装してください。

※反応促進剤(速乾型)の添加率は、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。

・本品は、気温30℃以上の環境下では使用しないでください。

・配合は重量比です。

・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

・メタリック/パールカラーベースには051-0101 反応促進剤(速乾型)を使用しないでください。トップコートクリアーと層間剥離する恐れがあります。

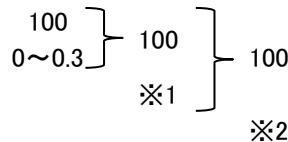
・ご使用後は注ぎ口のまわりをよく拭き取り、速やかに密栓し冷暗所にて保管してください。

・本品は補助剤です。塗料の硬化・蒸発速度の調整は気温に応じた硬化剤・シンナーを選定した上で、本品を併用してください。



配合可能塗料 主剤 100	
073-8***	ハイロックDX 1CS(1コートソリッドカラー)
073-8150	ハイロックDX クリヤー
079-***	ロックエース 1CS(1コートソリッドカラー)
088-***	パナロック 1CS(1コートソリッドカラー)

051-0101 反応促進剤(速乾型) 添加率
0~0.3%



配合可能塗料 主剤 各種

051-0101 反応促進剤(速乾型)

配合可能塗料 硬化剤 各種

※2 配合可能塗料 希釈シンナー 各種

※1 硬化剤の配合率は、各主剤のTDSを参照してください。

※2 標準希釈率は、各主剤のTDSを参照してください。

各種カラーベース

【H=時間】



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各可使時間・乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《膜厚60μm》

品番	品名	希釈率※	促進剤 添加量	可使時間		テーピング可能時間	
				10℃	20℃	10℃	60℃
073-8204	ハイロックDX ホワイト	15%	0.0%	8H	6H	30H	30分
073-8110	ハイロックDX 硬化剤		0.3%	2H	1H	20H	20分
079-0204	ロックエース スタンダードホワイト	60%	0.0%	24H	14H	24H	30分
079-0110	ロックエース 硬化剤		0.3%	8H	6H	15H	20分
088-0204	パナロック ホワイト	50%	0.0%	8H	5H	20H	20分
088-0110	パナロック 硬化剤		0.3%	5H	3H	15H	15分

※016L 各種塗料専用シンナー(標準型)で希釈。

反応促進剤(速乾型)

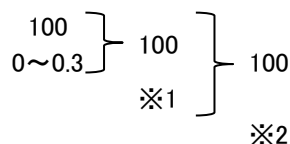
For Professional Use Only

使用方法



配合可能塗料 主剤 100	
150-1150	マルチトップ クリヤー-QR(標準型)
150-3140	マルチトップ クリヤー-MD(芯じまり)
150-3150	マルチトップ クリヤー-MR(標準型)

051-0101 反応促進剤(速乾型) 添加率
0~0.3%



配合可能塗料 主剤 各種  
051-0101 反応促進剤(速乾型)  
配合可能塗料 硬化剤 各種  
※2 配合可能塗料 希釈シンナー 各種

※1 硬化剤の配合率は、各主剤のTDSを参照してください。

※2 標準希釈率は、各主剤のTDSを参照してください。

150L マルチトップ クリヤー 各種

【H=時間】



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各可使時間・乾燥時間は変動しますので下表は参考として  
ください。

《膜厚50μm》

品番	品名	希釈率※	促進剤 添加量	可使時間		テーピング可能時間	
				10℃	20℃	10℃	60℃
150-1150	マルチトップ クリヤー-QR	15%	0.0%	7H	5.5H	33H	35分
150-1120	マルチトップ Q硬化剤		0.3%	3H	2H	23H	30分
150-3140	マルチトップ クリヤー-MD	15%	0.0%	5.5H	3.5H	24H	25分
150-3120	マルチトップ M硬化剤		0.3%	4H	2H	15H	20分
150-3150	マルチトップ クリヤー-MR	15%	0.0%	7H	5H	35H	35分
150-3120	マルチトップ M硬化剤		0.3%	3H	2H	24H	30分

※016-0773 プロタッチシンナー(標準型)で希釈。

注意事項



・051-0101 反応促進剤(速乾型)は、150-3160 マルチトップ クリヤー-MS(肌のび)にはご使用になれません。

Copyright © 2023 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。

本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。

実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。

本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。